

第4回北西太平洋地域における
海洋環境のリモートセンシングに関する国際ワークショップ

8月1日（火）

9:00- 9:30 受付

9:30-10:10 開会式

Dr. Seok-Yun KIM (釜慶^{フキョン}国立大学 韓国海洋科学大学共同機関所長)

Dr. Yeon-Soo MOK (釜慶^{フキョン}国立大学学長)

鈴木 基之 (財) 環日本海環境協力センター理事長)

Dr. Jeung-Sook PARK (NOWPAP RCU 科学担当官)

10:10~10:30 コーヒーブレイク & 写真撮影

10:30~12:00 セッション1：基調講演（議長 Dr. Changhu ZHOU, 中国）

10:30~10:50 海洋リモートセンシング及び有害藻類の異常繁殖に関する IOC/WESTPAC の活動並びに NOWPAP との協力関係

Dr. Miguel FORTES (ユネスコ政府間海洋学委員会西太平洋小委員会 (IOC/WESTPAC) 事務所長)

11:00~11:20 日本の環境分野へのリモートセンシングの活用

小池 勲夫 氏 (東京大学海洋研究所教授)

11:30~11:50 有害藻類コクロデニウムによる赤潮の状況及び PICES の活動紹介

Dr. Hak-Gyoon KIM (釜慶^{フキョン}国立大学教授)

12:00~13:30 昼食

13:30~14:10 セッション2：リモートセンシング並びに HAB に関する CEARAC の活動紹介（議長 Dr. Anatoly ALEXANIN, ロシア）

13:30~13:50 NOWPAP Working Group4 の活動紹介

寺内元基 ((財) 環日本海環境協力センター主任研究員)

13:50~14:10 NOWPAP Working Group3 の活動紹介

吉田尚郁 ((財) 環日本海環境協力センター研究員)

14:10~14:20 コーヒーブレイク

14:20~15:40 セッション3：使命、手段並びに技術の導入（議長 石坂 丞二 教授, 日本）

14:20~14:40 2004-2005 年の中国における海色リモートセンシングの技術発展及びその応用

Dr. Delu PAN (中国国家海洋局教授)

- 14:40～15:00 リモートセンシングによる沿岸海域における海色検出方法
Dr. Tinglu ZHANG (中国海洋大学海洋リモートセンシング研究所教授)
- 15:00～15:20 北西太平洋地域におけるリモートセンシングデータの受信及び応用の現状
と将来に向けての課題
Dr. Anatoly ALEXANIN (ロシア科学アカデミー極東支部 自動制御研究所
衛星モニタリング研究室室長)
- 15:20～15:40 Aqua AMSR-E による北西太平洋地域のモニタリング:環境パラメータ取得に
関する効果的なアルゴリズムについて
Dr. Elizaveta ZABOLOTSKIKH (ナンセン国際環境リモートセンシングセン
ター研究員)

15:40～16:00 コーヒーブレイク

16:00～17:40 セッション4 : HAB と赤潮 (議長 Dr. Hak-Gyoon KIM, 韓国)

- 16:00～16:20 赤潮及び微細藻類細胞のブルームへの富栄養化の影響
福代 康夫 (東京大学アジア生物資源環境研究センター教授)
- 16:20～16:40 韓国における毒素産生の渦鞭毛虫^{フキオン}による麻痺貝毒分析結果の地理的差異
Dr. Chang-Hoon KIM (韓国釜慶国立大学助教授)
- 16:40～17:00 ロシア太平洋地域における有害藻類について
Dr. Tatiana ORLOVA (ロシア科学アカデミー極東支部 海洋生物学研究所
上級研究員)
- 17:00～17:20 韓国における主な赤潮種及びその特徴
Dr. SamGuen LEE (韓国国立水産科学院(NFRDI)南海漁業研究所上級研究員)
- 17:20～17:40 馬山-チンヘ湾における有害藻類の変動
Dr. Chang-Kyu LEE (韓国海洋水産部(MOMAF)上級研究員)

8月2日 (水)

9:30～10:50 セッション5 : 赤潮 (議長 福代 康夫 教授, 日本)

- 9:30～ 9:50 東アジア海域におけるリモートセンシングを使った赤潮/有害藻類の検出及
びモニタリングに関する戦略
川村 宏 (東北大学大学院理学研究科教授)
- 9:50～10:10 北西太平洋沿岸域における海色リモートセンシングセンサによる赤潮/有害
藻類の検出
Dr. Yu-Hwan AHN(韓国海洋研究院(KORDI)研究員)
Dr. Palanisamy Shanmugam (韓国海洋研究院(KORDI)研究員)
- 10:10～10:30 有明海における海色リモートセンシングセンサ によって捉えた植物プラン
クトンの動態
石坂 丞二 (長崎大学水産学部教授)

- 14:40～15:00 リモートセンシング合成開口レーダーを用いたバラスト水及び HAB の検出
Dr. Denis DARKIN(ロシア科学アカデミー極東支部 太平洋研究所衛星海洋学部研究員)、
Dr. Vyacheslav DUBINA (ロシア科学アカデミー極東支部 太平洋研究所衛星海洋学部研究員)

10:50～11:00 コーヒーブレイク

11:00～12:20 セッション 6：海洋環境（議長 Dr. DanLing TANG, 中国）

- 11:00～11:20 リモートセンシングによって捉えた東海及び日本海の海況
Dr. Young-Sang SUH（韓国国立水産科学院(NFRDI)東海漁業研究所部長）
- 11:20～11:40 リモートセンシングによって捉えた日本海における台風時のクロロフィル a 濃度の短期変動
Dr. Keiko YAMADA（韓国国立水産科学院(NFRDI)海洋部研究員）、
Dr. Sang-Woo KIM（韓国国立水産科学院(NFRDI)海洋部研究員）
- 11:40～12:00 東海及び日本海におけるリモートセンシングによって捉えた春季ブルームへの風の影響
Dr. Hyun-Cheol KIM（韓国海洋研究院(KORDI)研究員）、
Dr. Sinjae YOO（韓国海洋研究院(KORDI)研究員研究員）
- 12:00～12:20 北西太平洋沿岸地域におけるリモートセンシング合成開口レーダーを用いた物理、生態プロセスのモニタリング
Dr. Vyacheslav DUBINA(ロシア科学アカデミー極東支部 太平洋研究所衛星海洋学部研究員)、
Dr. Leonid MITNIK (ロシア科学アカデミー極東支部 太平洋研究所衛星海洋学部部長)

12:20～14:00 昼食

14:00～15:40 セッション 7：沿岸モニタリング（議長 Dr. Young-Sang SUH, 韓国）

- 14:00～14:20 中国ダヤ湾におけるリモートセンシングデータと現場データを用いた海面水温の変動及び沿岸環境の長期観測
Dr. DanLing TANG（中国科学アカデミー 南シナ海海洋学研究所教授）
- 14:20～14:40 海色リモートセンシングセンサによって捉えた東シナ海の基礎生産における長江の影響
浅沼 市男（東京情報大学総合情報学部環境情報学科教授）
- 14:40～15:00 北海道におけるリモートセンシングイメージによる沿岸水の調査
福山 龍次（北海道環境科学研究センター環境保全部教授）
- 15:00～15:20 海色リモートセンシングセンサによる十勝川河川水の時空間変動の把握
斉藤 誠一（北海道大学大学院水産科学研究院教授）
- 15:20～15:40 黄河デルタにおける過去 25 年間の海岸線の変遷
Dr. Chenghu ZHOU（中国科学アカデミー 地理科学・資源研究所教授）